※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	かんたんソーイング	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi2026　資料＋成分表（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ソーイングに関する基礎的知識・技術を習得し、簡単にできる身近な小物づくりを通して、ソーイングの世界を創造する楽しさと奥深さを体感しましょう。
・衣生活の文化に触れ、先人の知恵・工夫を学び、衣生活を豊かに創造しようとする態度や能力を養いましょう。
・衣生活について多面的に探究し、誰もが豊かな衣生活を実感できる、持続可能な地球環境について共に探究しましょう。

2　学習の到達目標

㊚
・作品作りに必要な、材料・道具の選択・縫製・仕上げの仕方についての基礎的な知識・技術を身につけている。

㊟

・衣生活の文化を築いてこられた先人の知恵や工夫に触れ、物を大切にする思いや暮らしぶりに思いをはせ、現代の生活でも活かすことのできる価値観や解決策はないか繰り返し模索し、自分の意見で述べることができるようになる。

㊟

・基礎縫い中心の簡単に作れる身近な作品作りの過程で、試行錯誤を繰り返しながら、自分なりに創意工夫を重ねようとする
・レポート作成・発表・意見交換を通し、思考力・判断力・表現力を自ら繰り返し高めていこうとする学習プロセスを身につけている。
・衣生活をデザインする楽しさを知ることを通し、自己や身近な人の衣生活をより豊かなものに創意工夫・改善できないか、探究しようとする姿勢を自ら養うことができる。
・誰もが真に豊かさを実感できる衣生活のライフスタイルとはどのようなものなのか、ユニバーサルデザインや、持続可能な地球環境の視点からも多面的に探究しようとする姿勢を自ら養うことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	ソーイングに関する基礎的な知識・技術について、実習を通して繰り返しながら体験的に学ぶことで、より確実に身につけることができている。 自己や身近な人の衣生活に関する課題を発見し、その解決策を模索し、自ら実践できる知識や技術を身についている。 現代・未来社会における、衣生活に関する様々な課題や解決策について調査研究し、基礎的な知識を身につけ、自分事として理解を深めている。	小物づくりや手芸を通し、創作の楽しさに触れ、衣生活の文化の奥深さについて自ら探究することができる。 ソーイングの道具の歴史や文化に触れ、先人の工夫や想いなど、その時代背景や環境について自ら探究することができる。 最新の繊維産業の開発や利用方法など、幅広く自ら情報を収集・探究し、レポート・新聞形式で発表しあい、意見交換をすることができる。 現代・未来社会においての地域及び社会における衣生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決策を模索し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	これからの社会を担う生活主体者として、環境やユニバーサルデザインの視点など、どのような視点が大切かを自ら考え、研究・実践しようとする態度を身につけている。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の衣生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

一学期	ソーイングの世界の魅力に触れよう　―ソーイングの基礎を学ぼう―	・ソーイングの学び方 ・人とソーイングのかかわり ・日本のソーイング ・世界のソーイング ・基礎縫いをマスターしよう ・作品A（基礎練習編①）製作	a：ソーイングに必要な道具や布などについて、基礎的な知識・技術を身につけている。 人とソーイングのかかわりは、風土・歴史・慣習・宗教など、単に気候だけでなく、その土地その土地の人々の様々な価値観と相まって独自の衣生活の文化が発展してきたことを理解している。 b：基礎縫い中心の簡単にできる作品作りを通し、身近な衣生活をめぐる課題を自分の問題点を見出して課題を設定し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：衣生活において自分らしい生き方や、家族の一員としてできることはないか、また社会の一員としてできることはないか、自ら積極的に衣生活にかかわろうとしている。 よりよい社会の構築に向け、適切な意思決定に基づいて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート レポート 発表 作品	ワークシート レポート ファイル 発表 作品	授業観察 ワークシート レポート ファイル 発表 作品

※令和４年度以降入学生用

二学期	ソーイングの技術を向上させ、生活に役立てよう	・作品B(基礎縫い練習編②) 製作 ・ソーイングの道具について (糸・布・針) ・衣服のデザインのエレメント (錯視効果をねらう) ・新聞作成 ・ライフスタイルと環境を考える ・作品C(基礎縫い①) 製作 ・ユニバーサルデザインを考える ≪新聞づくり≫	a:簡単にできる基礎縫いの作品づくりを通し、基礎的な縫製の技術を向上させることができる知識・技術を身につけている。 ソーイング（手縫い中心）に必要な材料・道具選びの基礎的な知識と技術を身につけ、それらを適切に管理することができる。 衣服のデザインの構成要素についての基礎的な知識を身につけている。 持続可能な衣生活における課題について理解を深め、一消費者としての意思決定の重要性、消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 b:衣生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、衣生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 世界の民族衣装や日本の衣生活の歴史などについての探究を通し、身の回りの衣生活をより豊かなものにしようと創造・表現できる力を身につけている。 ｃ：誰もが便利で豊かな衣生活を実感できるよりよい社会の構築に向けて、学んだソーイングやデザインの知識と技術、を活かし、自己の生活や衣生活、並びに家庭や社会の一員としての責任を果たそうと、適切な意思決定に基づいて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活を創造し、実践しようとしている。	レポート 発表 新聞 作品	レポート 発表 新聞 ファイル 作品	授業観察 レポート 発表 新聞 ファイル 作品

※令和４年度以降入学生用

三学期	オリジナルデザインを考え、ソーイングをもっと楽しもう	・リメイクにチャレンジ ・オリジナルデザインを考案しよう ・作品D(基礎編②) ・ユニバーサルデザインについて考えよう ≪小論文作成≫	a:ソーイングの技術的な基礎を踏まえ、オリジナルデザインを自ら考案し、作品（リメイク）を製作することができる知識・技術を身につけている。 ユニバーサルデザインの視点から衣生活をめぐる課題を発見し、誰もが豊かに衣生活を楽しめるようになるための生活情報の収集・整理が適切にできる。 b:誰もが便利で豊かに衣生活を楽しめることの社会をどのように構築していくべきか、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、衣生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 ｃ：誰もが衣生活において便利で豊かさを実感できる社会づくりについて探究し、自分らしい生き方や、社会の一員としての責任、よりよい社会の構築に向け、適切な意思決定に基づいて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活を創造し、実践しようとしている。	レポート 発表 作品 小論文	レポート 発表 ファイル 作品 小論文	授業観察 レポート 発表 ファイル 作品 小論文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度